



かつら
桂

さん ばつ
三 発



いち 期 一 会

「来るな災害、来たら避難」で大丈夫か

問 令和2年度は、大きな災害がなく、検証されていないが、避難所における新型コロナウイルス感染症対策は万全か。

また、他県で発生した災害時の避難所の問題点をどのように把握しているのか。



避難所における感染症対策に万全を期す

答 コロナ禍における避難所対策として、全ての避難所を対象にマスクや手指消毒液などの感染予防対策物品や、体調不良者等が発生した際に必要となる段ボールベッドや簡易間仕切りなどを整備している。また、令和3年度においても、避難所運営訓練で明らかになった必要物品の追加整備を行っていく。

豪雨被害を受けた九州地方等の避難所の実態については、各種広報媒体や報道等で取り上げられており、津市でもこうした事例や課題、教訓あるいは問題点等を把握・検証するとともに、国のガイドライン等も踏まえ、感染防止の徹底に取り組んでいく。

●その他の質疑・質問●

- 津市自治会問題に関する「調査実施案件 調査結果報告書」について
- 内部統制室について
- 防犯灯設置補助金の見直しについて
- 障がい者支援について
- ビジネスサポートセンターの4年間の成果は
- 合併浄化槽の廃止の手續程度はできないのか



▲防犯灯設置補助金の見直しを



た や しゅう すけ
田 矢 修 介



き ぼう かせ
希望の風

複雑化・多様化する災害に対する取り組みは

問 消防行政は、住民の生命、身体、財産を守るという根源的な行政サービスであり、人的・財政的な制約が厳しくなっても、必要な消防力の維持・確保をしていくことが不可欠であり、今後、消防が対峙すべき将来を見据えた対策を的確に実施していくことが求められている。

複雑化・多様化する災害に対する津市消防の取り組みは。

災害への対応力の充実強化を図る

答 消防が対応する災害には、地震や豪雨のような大規模災害のほか、日常的に発生している火災や救急・救助の事故など、さまざまで、複雑化・多様化する災害に対して的確に対応していく必要がある。

津市消防本部では、東日本大震災以降、これらのさまざまな災害に対応するため、ハード、ソフトの両面を強化してきた。

今後についても、第三次津市消防力整備計画に基づき、消防施設、消防車両および資機材の更新や職員の教育等の体制強化を行い、複雑多様化、大規模化する災害への対応力の充実強化を図っていく。

●その他の質疑・質問●

- 二次救急輪番病院等医療提供体制強化特別負担金の具体的な活用と救急医療体制の強化は
- 新型コロナウイルスワクチン接種について、独居・老々世帯者等への送迎による接種において周知と接種希望への対応は
- 公共施設の長寿命化と合わせバリアフリー化への取り組みを
- 図書館における電子書籍貸出サービスの実施について など



▲老朽化している津市中消防署と同西分署の整備促進を